

おしゃべりなぐくしょ会

大人になってからもう一度、子どもの本を読んでみませんか？
子どもの本をテキストにした読書会です。テキストを読んで、みなでおしゃべりしましょう♪

- ・奇数月第2日曜日 10:30～正午まで
- ・参加無料＆予約不要(場所は、本館2階多目的室です)
- ・テキストは借りられます！カウンターへお声がけください。



2025年5/11「みんなのためいき図鑑」

(村上しいこ 作、童心社)



読書感想文2022

ためいきをつくのには、いろんな理由があるんだ。「ためいき図鑑」をつくることになった、たのちんの班。教室にこられない加世堂さんにも、図鑑づくりに参加してもらいたい、たのちんはある提案をするのだが…。

職員コメント:開催日がGW終わり頃なので、タイトルの「ためいき」が良いな～、と思いました。

2025年7月13日

「エイ・エイ・オー！ ぼくが足軽だった夏」

(佐々木ひとみ 作、新日本出版社)



作者は仙台市在住

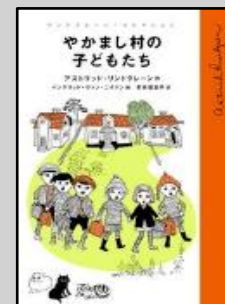
かつて仙台藩お抱えの大工だった直紀のご先祖。じいちゃんには、伊達政宗が朝鮮から持ち帰ったというりっぱな藤の木があった。その藤棚の下に人がいた。人っていうか、武士？武将？

職員コメント:仙台が舞台です！！
「奥州・仙台おもてなし集団 杜乃武将隊」が登場します！

2025年9月14日

「やかまし村の子どもたち」

(アストリッド・リンドグリーン 作、岩波書店)



『長くつ下のピッピ』の作者

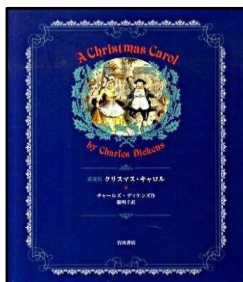
干し草の山にとびこみ、野イチゴをつみ、変装ごっこで大わらい！自然豊かな小さな村に、子どもたちがぜんぶで6人。楽しいことでいっぱい毎日8歳になるリサが語ります。

職員コメント:シリーズ1作目。過去に映画化もされています。幼少期が想起される作品です。

2025年11月9日

「愛蔵版 クリスマス・キャロル」

(チャールズ・ディケンズ 作、岩波書店)



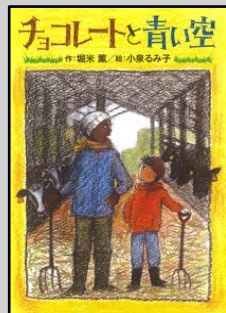
クリスマスの前夜、強欲で嫌われ者の商人スクルージのまえに、かつての共同経営者の亡霊があらわれる。三人のクリスマスの幽霊の訪問をうけ、過去、現在、未来へと連れていかれたスクルージが見たものは……。恐怖が喜びに転じるクリスマス・ストーリーの傑作。

職員コメント:タイトルは知っていても、原作をじっくり読んだ人は少ないかも…？クリスマス前にぜひ！

2026年1月11日

「チョコレートと青い空」

(堀米薫 作、そうえん社)



読書感想文2023

ぼくの家は専業農家。兄ちゃんは毎日イライラして、家の仕事の手伝いはいつもぼくばかり…。そんなある日、ガーナ人の研修生・エリックさんがやってきます。頼もしいエリックさんといっしょの明るく楽しい日々。そんな中で、ぼくはガーナのカカオ農園で働く子どもたちのことを知ります。「もっと世界に目を広げよう。そして真実を知ろう」

職員コメント:開催日がバレンタイン前ですね～。
チョコを選ぶときに、内容を思い出してほしい作品です。

2026年3月8日

「ムーミン全集 新版2 たのしいムーミン一家」

(トーベ・ヤンソン 作、講談社)



長い冬眠から目ざめたムーミントロール。仲よしのスナフキン、スニフといっしょに海べりの山の頂上で黒いぼうしを発見します。それは飛行おにが落とした魔法の帽子で、中に入れたものの形や性質をかえてしまうのでした……。たのしくて、ふしぎな事件が次々におこります。

職員コメント:かわいいグッズが多いムーミンの原作です。
愛蔵版などもありますよ～